

## 令和7年度 学校評価アンケート結果

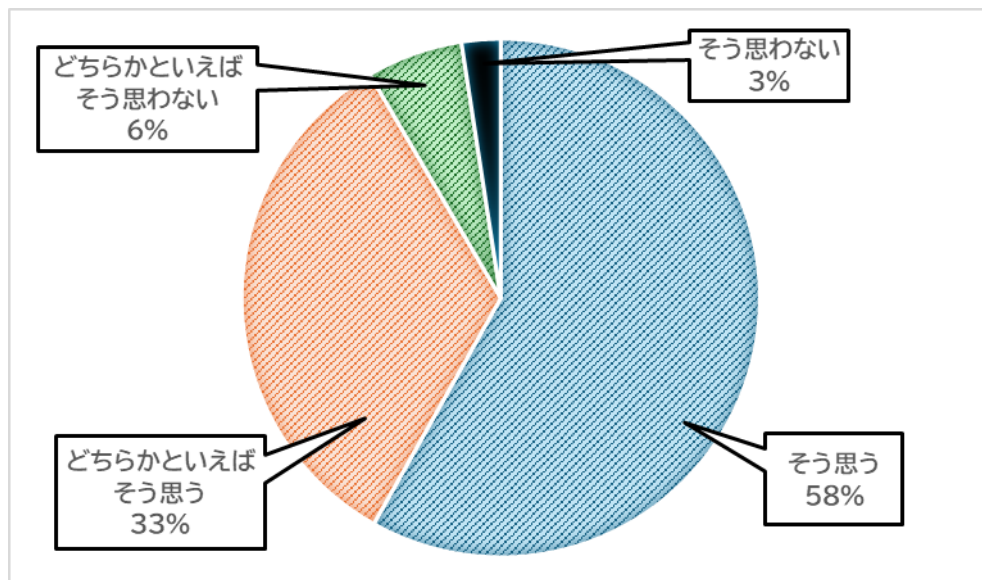
平素より本校の教育活動にご理解・ご協働を賜り、感謝申し上げます。

先日実施した10月31日（金）の学校公開・11月1日（土）のマイプラフェスタの2日間の際に、保護者の皆様に向けて学校評価アンケートを実施させていただきました。多くの方々にご協力いただきありがとうございました。また、11月中旬には児童向けのアンケートも実施しました。

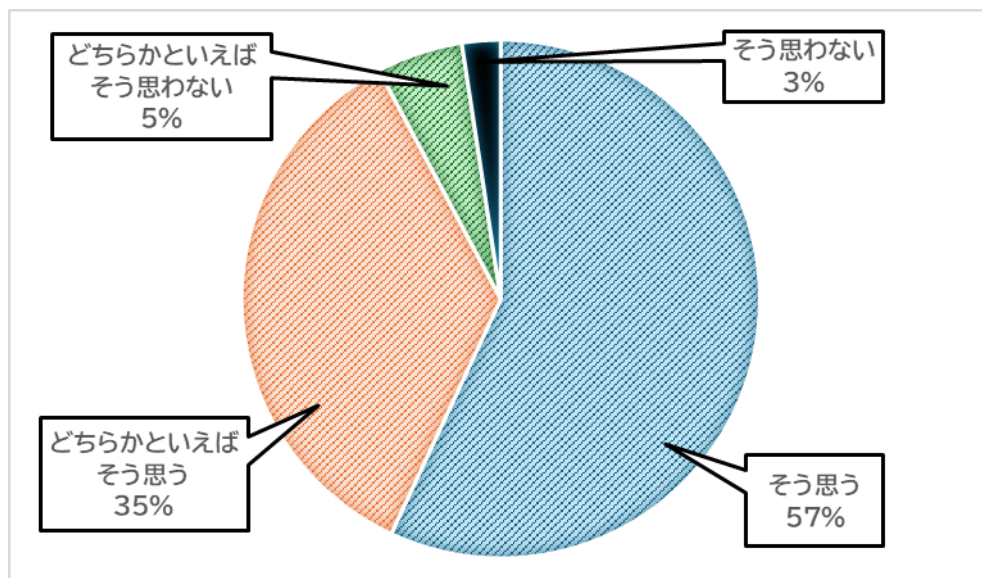
保護者の皆様からいただきましたご意見と児童の意見を基に、令和7年度学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、以下のとおりお知らせいたします。アンケートの結果を踏まえて、今後の教育活動の改善とより一層の充実を図ってまいります。

### 1 児童アンケート結果（回答人数541名）

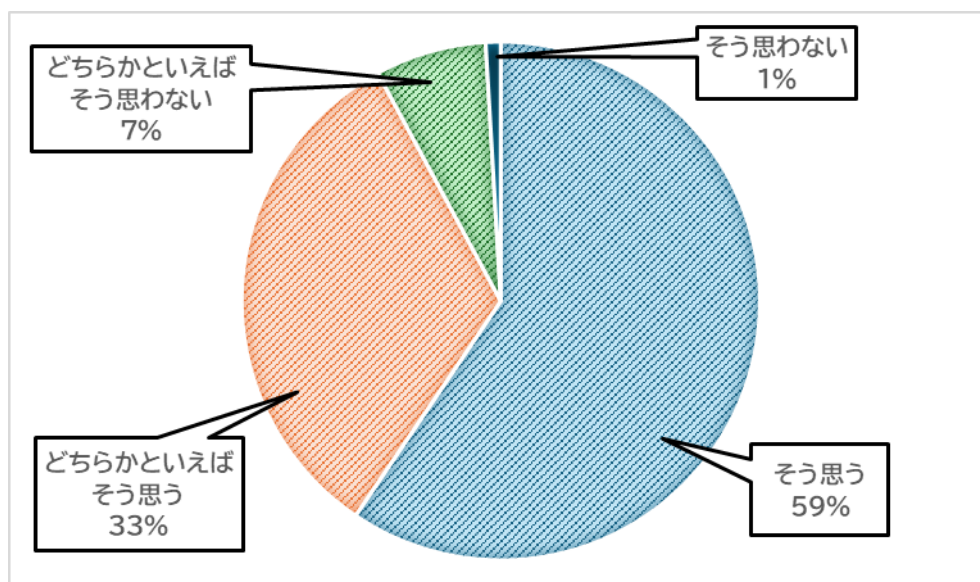
#### Q.学校に通うのが楽しい



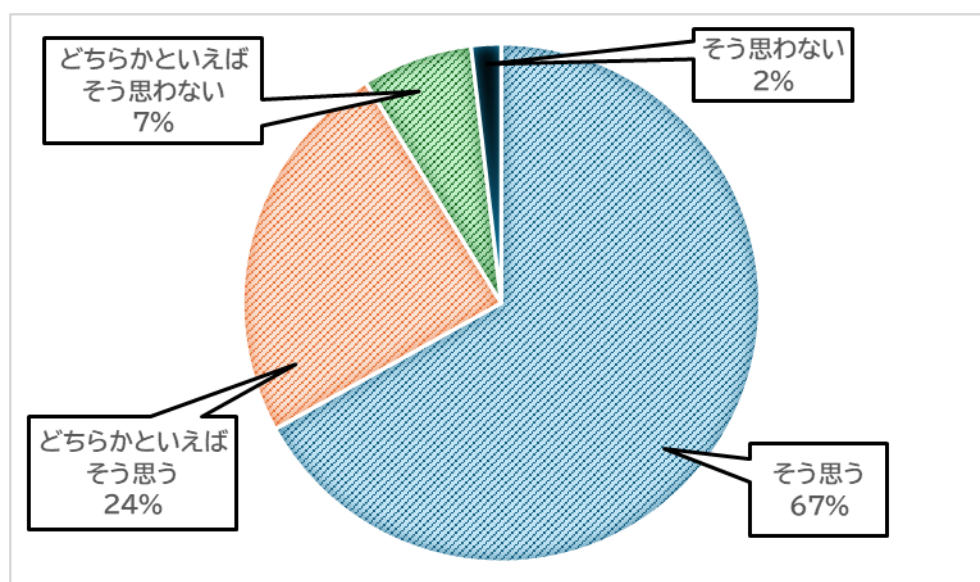
#### Q.授業で「できた」「分かった」と感じる事があった



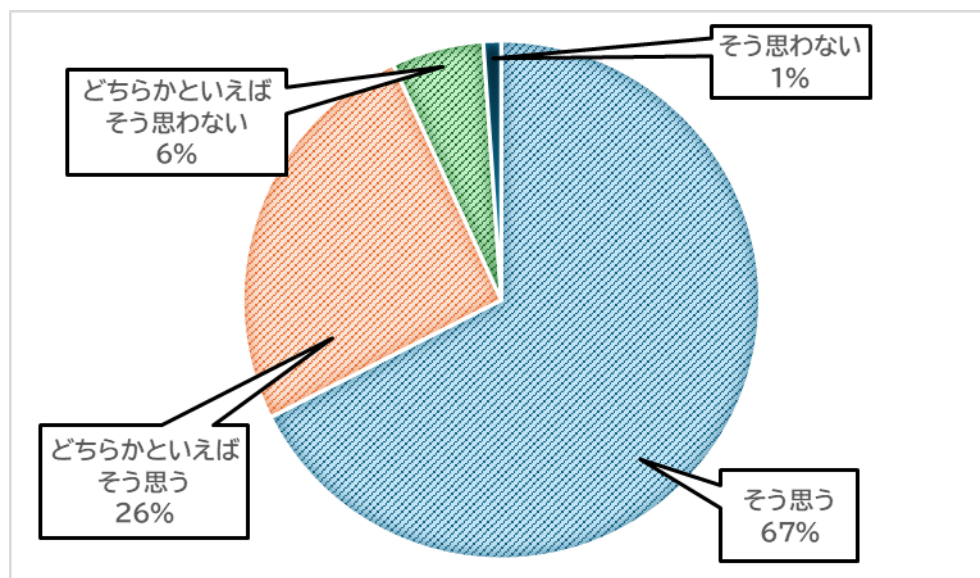
Q.自分たち『決める・選ぶ・進める』学習をする時間があった



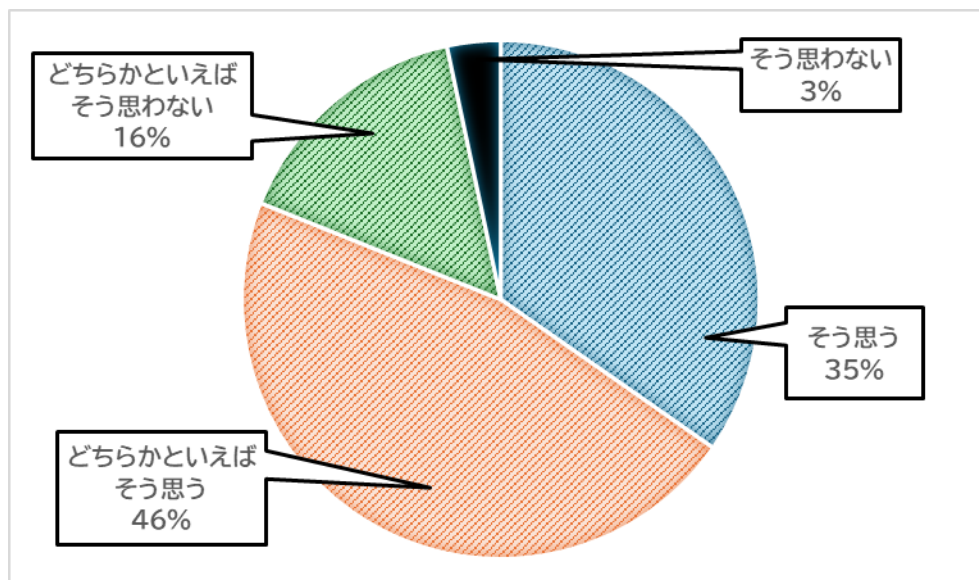
Q.自分の好きなこと・やりたいことを学習する時間があった



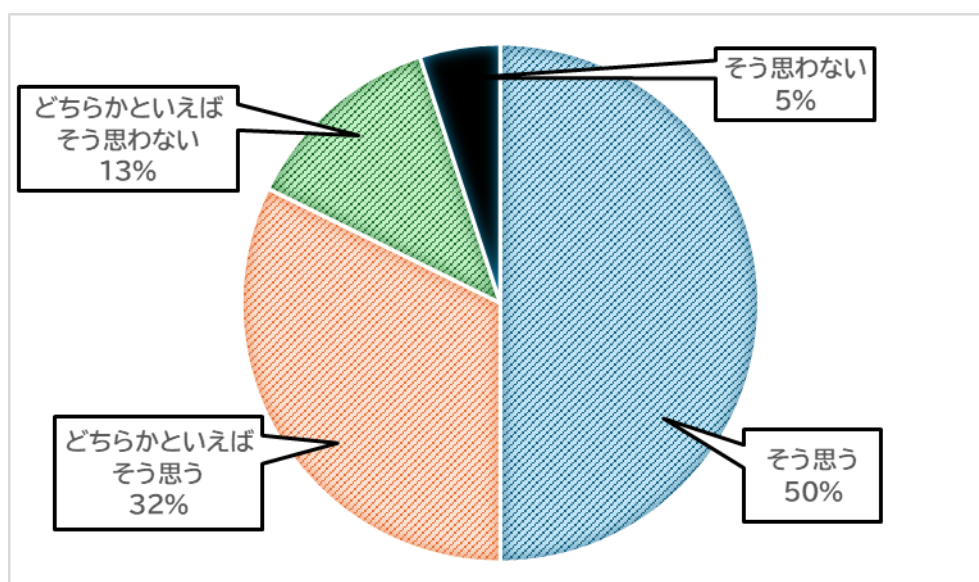
Q.体育や休み時間の遊びなどを通して、「体を動かす楽しさや心地よさ」「人と関わる楽しさ」を感じることがあった



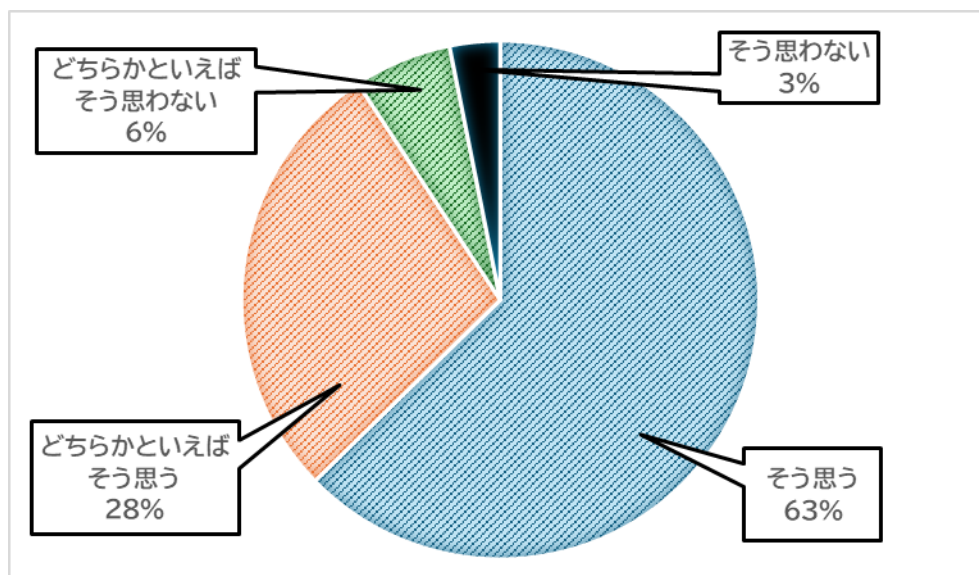
Q.よりよい学級・学校にするために話し合うことができた



Q.学校や家でクロムブックを使って勉強することができている



Q.先生たちは、困っていることや助けてほしいことに気付いたり、守ったりしてくれている





## 【児童アンケート全体を通して】

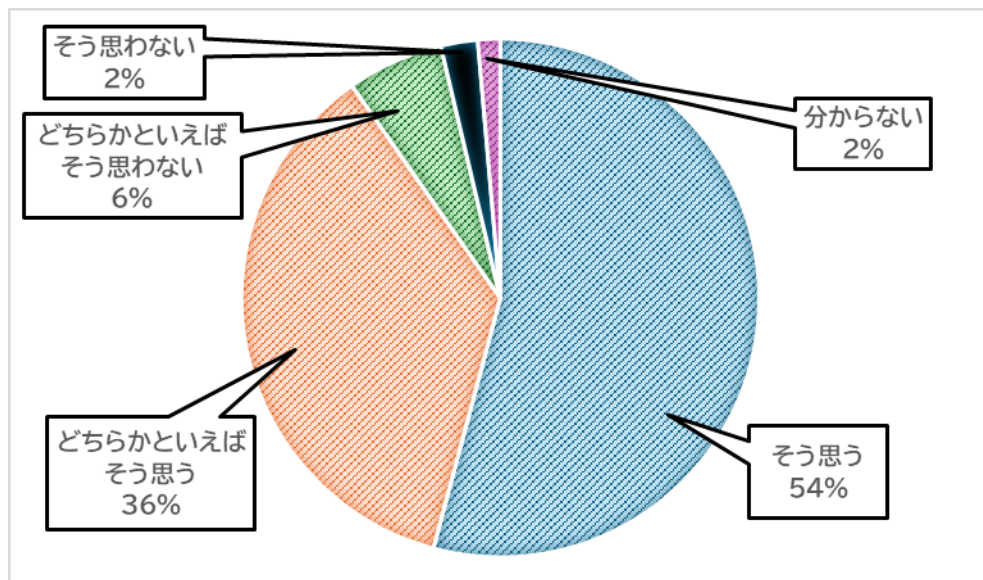
8つの項目すべてにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した児童の割合が8～9割という結果になりました。

特に、学習に関わる項目『授業で「できた」「分かった」と感じることはあった』『自分たちで「決める・選ぶ・進める」学習をする時間があった』『自分の好きなこと・やりたいことを学習する時間があった』の3項目においては、「当てはまる」「やや当てはまる」という肯定的な回答をした割合が9割を大きく上回る結果となりました。マイブランスクールにおける探究活動を受けて、他の教科においても受動的な学習形態ではなく、子供たちが主役である学習形態となるような工夫や仕掛けを進めている成果が少しずつ表れていると考えています。

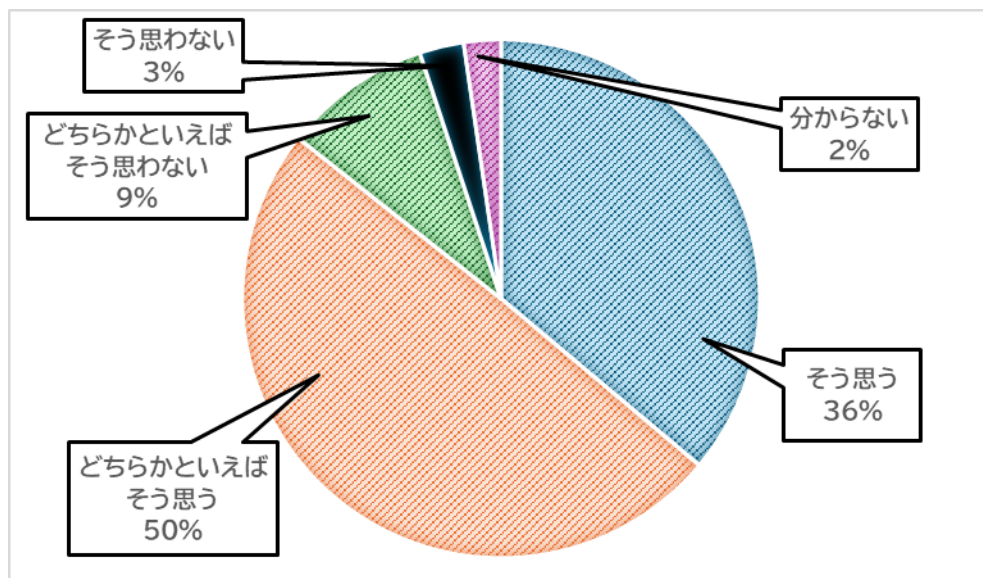
また、『先生たちは、困っていることや助けてほしいことに気付いたり、守ったりしてくれている』の項目における「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」という肯定的な回答をした割合が9割（昨年度は8割）を超えました。今後も児童の声に耳を傾けたり、表情などを注視したりする中で、児童のヘルプサインにいち早く気付くことができるようにしていきます。そして、「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」と回答した児童がいることを真摯に受け止め、教職員全員で学校が子供たちにとって安全・安心な場所になるように努めていきます。

## 2 保護者アンケート結果（回答人数216名）

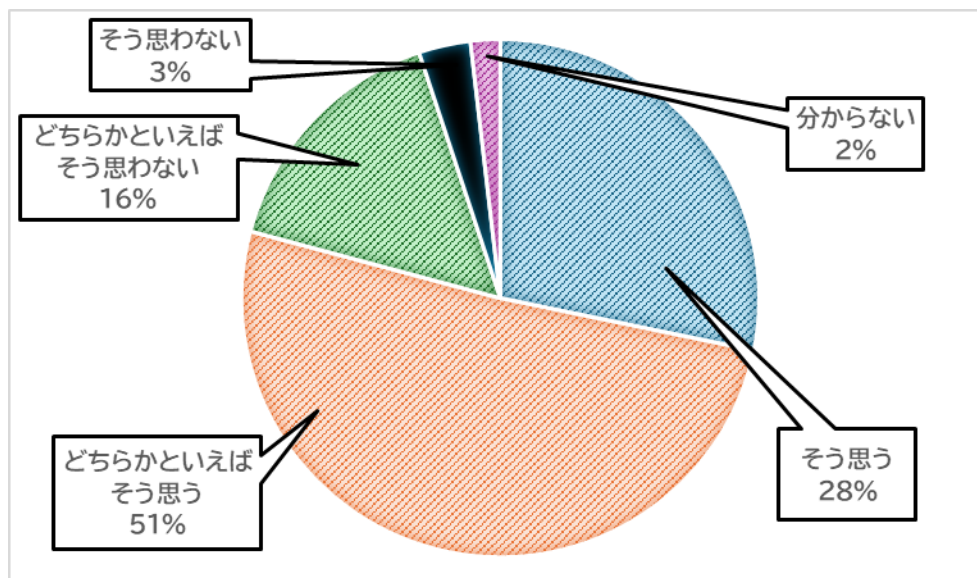
Q.お子さんは、学校に楽しく通っている



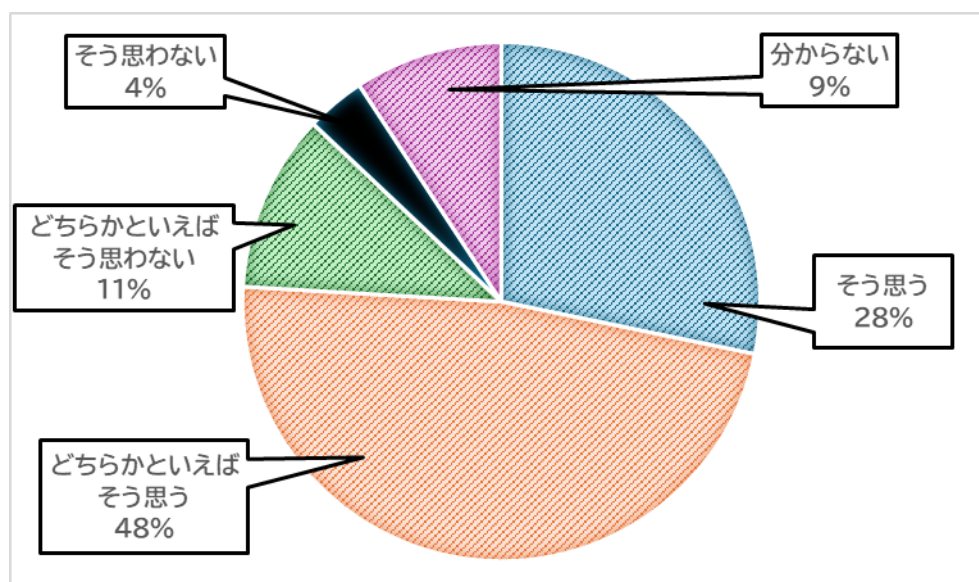
Q.お子さんは、授業や学習を楽しんでいる



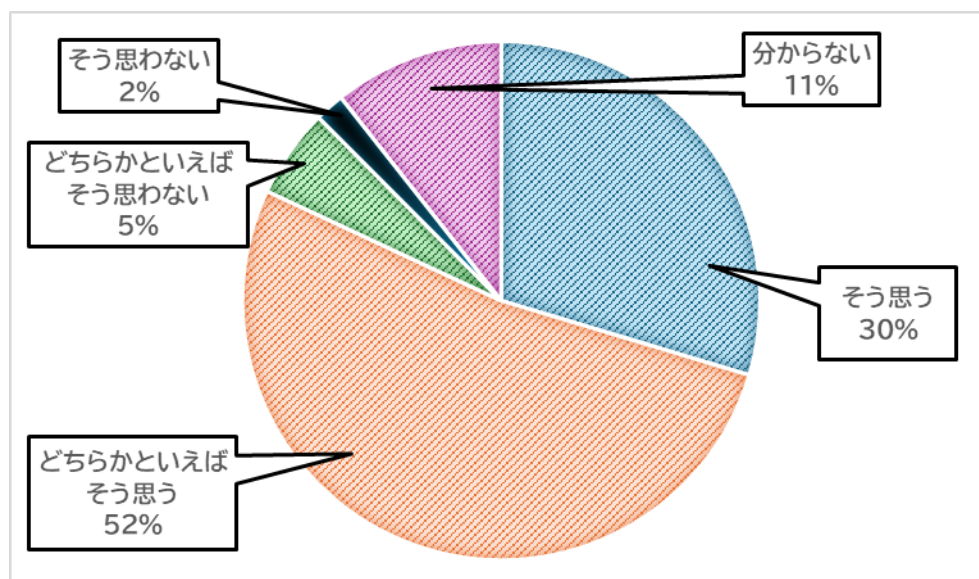
Q.お子さんは、身近な人にすすんで挨拶をしている

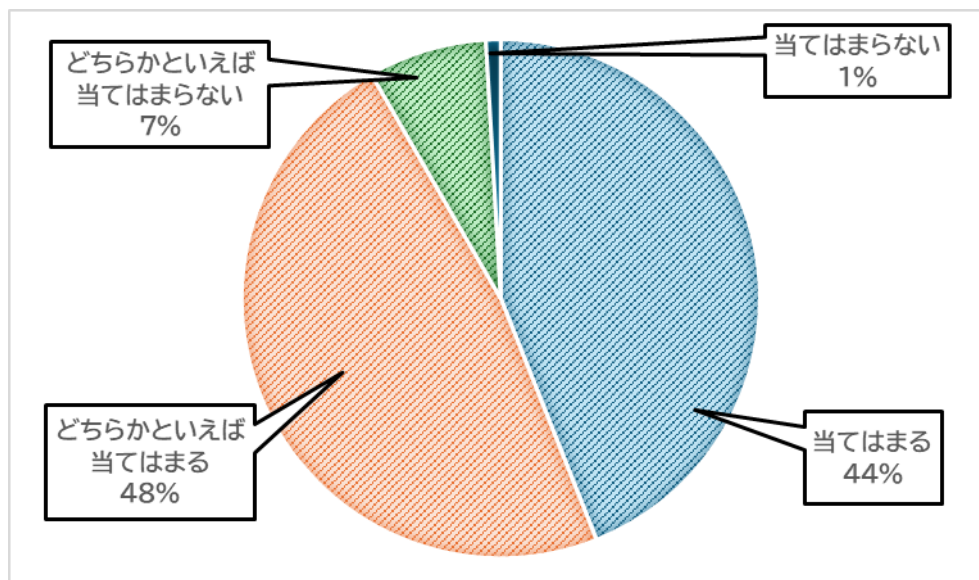


Q.お子さんは、学習にクロムブックを効果的に活用している



Q.学校は、子供たちの不安や悩みなどに適切に対応している





#### 【保護者アンケート全体を通して】

6つの項目全てにおいて「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした方の割合が、8割近い結果になりました。

特に『お子さんは、学校に楽しく通っている』の項目では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な意見の割合が9割を超え、6項目の中で一番高い評価となりました。今後も子供たちが学校に通うことが楽しいと思えるような環境づくりを心掛けてまいります。

その一方で、『学校は、子供たちの不安や悩みなどに適切に対応している』の項目では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な意見の割合が8割を超えていますが、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「分からない」と回答した方の割合が約2割となっています。日頃から児童の行動等に注視し、気になった様子等をこれまで以上に家庭へ共有するなどして、児童の不安や悩みなどに早期に対応するとともに、いじめの未然防止、SOS の出し方に関する教育の更なる推進にも努めていきます。

また、『お子さんは、学習にクロムブックを効果的に活用している』の項目では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な意見の割合が約7割と、他の項目に比べて低い割合となりました。クロムブックは、マイブランスクール以外の教科においても適宜活用しているものの、保護者の皆様にとってはまだまだ不透明な部分があります。各学年の学校 Web ページや学校公開の授業時に、クロムブックの効果的な活用について実感していただけるよう発信してまいります。

### ～自由記述欄のご意見～（抜粋）

**\* 緑色の部分は、ご意見に対する学校側の回答になります。**

#### 【教育活動について】

- いつも、ありがとうございます。子供から、「学校が好き、楽しいからね！」と聞きます。楽しく通えていることに感謝です。
- 校長先生を筆頭に、たくさんの先生方のお力添えで子供達は安心して学校に通うことができているのだと感じます。アプリから発信されるひとつひとつのお手紙から丁寧さが伝わってきます。四小で良かったと心から思います。いつもありがとうございます。
- 他校に比べて、率先して取り組んでいるところがとても素敵だと感じます。昔ながらのやり方にも意義は勿論ありますが、意義を理解しつつ新たにしていくことが次世代を担えていけると思うので。
- 公開授業に参加し、オープクエッションを使い好奇心や興味をくすぐる授業になっていた。また、体験やディスカッションを通して、学びを深めていた。子ども達が考えたことを実践や記録をすることで、更に学びが深まるよう授業でした。整理整頓され、教室には担任の先生の考えが溢れる教室となっていました。様々な教室を伺い、彩りや景色を楽しむ機会となりました。



- クロムブックをどのように活用しているのかわからないです。ドリルパークがあるのは知っていますが、子供がやっているのかわからないです。家ではやっていないです。家庭学習などで役立てられるのであれば、活用方法や、使っている範囲を教えてください。

⇒学校では、学年の発達段階に合わせてクロムブックを活用した授業づくりを取り入れています。ご家庭におかれましては、ドリルパークでの予習・復習を行っていただくことや、ローマ字打ちに慣れるためのタイピング練習、マイプランスクールをご家庭でも取り組んでみるなど、子供たちの探究学習の手立てとしてご活用いただくことも可能です。

- 宿題がクロムブックにアップされるのが遅いです。帰宅後すぐに始められず困ることがあります。

⇒日々のご連絡が遅くなり、ご不便をお掛けいたしまして大変申し訳ございません。今後は、余裕をもってご連絡を配信できるように改善を図ってまいります。

- 三連休の土曜日に行事を入れないで欲しい。

⇒令和7年度は、2学期に大きな行事が複数ありました。各行事の間隔や子供たちの体力面等を考慮した際に、三連休の土曜日に行事を入れざるを得ない状況となりましたことをご理解いただけますと幸いです。

- 学級名簿(同級生の写真と名前)、時代の流れなのでしょうが親としては無くなってしまい正直なところ困っています。保育園と違い親が顔を合わせる機会も少なく、余りにも同じクラスの子供達の顔も名前も覚えられずにこのまま6年まで進むのかと思うと寂しく感じます。また、子供が他のお子さんに迷惑をかけた際など、一体どの様にして親御さんへコンタクトを取れば良いのかと途方に暮れてしまいます。今は同意を得なければいけないなどあるのでしょうか、希望者だけでもいいので同じ学級の親へ連絡を取れる手段をいただけないものでしょうか。(せめてメールアドレスだけでも)

LINEでグループを作れば良いということもありますが、本当にどの親御さんも知らないまま現在に至ります。

⇒昨今の時代の流れや個人情報保護、防犯上の観点からも、児童の顔や名前が特定できるような資料を作成し、配布することは難しいです。本校では、子供たちの教育活動をご覧いただけるよう、各学期に学校公開や行事を設定したり、月1回のマイプランスクールの自由参観日を設定したりしています。このような機会をご活用いただき、一人でも多くの子供たち・親御様との関わりをもっていただければ幸いです。

また、児童間のトラブルにつきましては、可能な限り、ご家庭と学校で協働し合いながら解決に向けていくことができると考えております。

- チーム担任制について。今年度初の実施で、半年経っての状況についての課題などあれば共有いただきたいです。

⇒現在、校内において児童と教職員を対象に「チーム担任制」に関するアンケートを実施し、分析・考察を進めています。その中で見えてきた成果や課題等を次年度以降の教育活動につなげてまいります。具体的な成果と課題等につきましては、後日、保護者の皆様とも共有させていただく予定ですので、今しばらくお待ちください。

### 【マイプランスクールについて】

- 6年生しか見てませんが、どの子もテーマアップ内容が素晴らしく、仮説を立て、色々調査もした上で最終に向けての方向出しをしていて、感心しました。プレゼンも上達していてわかりやすかったです。本当によい活動と思います。

- こういった形の発表は経験が少ないのに、とても頑張っていたなと思います。また高学年の子達が積極的に話しかけてくれたり、質問してくれたりしていて、普段から交流があり面倒を見てくれているんだなと感謝の気持ちでいっぱいです。人前で話すのは苦手な子も多いと思いますが、大人になって必要になる場面も増えると思うので、楽しく学んで少しでも力がつけてくれたらなと思いました。

- それぞれが調べたいことをみつけ、工夫してまとめて発表していることに驚きと感心ばかりでした。恥ずかしがらず、発表の仕方が上手な子もいて、我が子にもこうやってほしいなと思ったり、上級生が次回へのアドバイスをしているのも、真剣に聞いているからこそだなと思いました。私自身、知らないことを知ることができたと、楽しい時間でした。

- テーマに対しての深掘りがあり、とても深く考えられていると感じました。まとめ方にも子供によっての大きな差がなく、発表の基礎ができているのは子供の探究心を先生方が引き出してくださっているからだと思いました。グループ発表から個人発表になり自分の子に対して発表力にとっても不安があったのですが、当日自分らしく発表している姿はとても頼もしく、のびのびと自分を表現している姿に感動しました。

- 一年生から取り組んでいるマイブラ、少しずつみんなまとめるのが上手になってきていたり、こだわりを感じたり、大人も驚く内容だったり成長を感じています。

- 三年生からはPCも巧みに使いプレゼン資料も個人個人デザインや展開が様々で、個性豊かで楽しかったです！フォーカスした題材が、昨年までとはグッとレベルが上がっていた気がします。それだけ社会への関心、世の中の事に少しずつ興味を持っていることなのかと三年生全体の成長に感激しました。

- 児童達の質問の内容がとても的を得ていたため、発表内容をきちんと聞いて理解しようとしていることが分かりました。どの子もテーマに個性があって面白かったです。コメント表を台紙に貼ったことで見やすく、扱いやすくなりました。先生からコメント表を初めてもらい、一番喜んでおりました。

- 子供たちもマイブラに慣れて来たのか、発表内容やプレゼンの仕方が毎回洗練されてきている印象を受けます。児童それぞれの個性が出ていてすごく良かったです。

自分の好きなトピックをリサーチしたり発表したりするのはモチベーション向上にもなり学習・成長にもとても役立っていると思います。これまでの詰め込み学習から「自分で考える力」を養う授業内容を引き続きもっと取り入れていただけることを期待しています。今後もマイブラフェスタ楽しみにしています。

- 皆が自分の興味があることを調べて、一生懸命発表しているところが良かった。自分の子どもに対しては、緊張で声が小さかったけれど、夏休みに「ペンギンのことを知りたいから、水族館に行きたい」などの発言が聞かれ、自ら学習しようという姿勢が見られたのは、マイブラがあってからこそだと思い、良かったと思った。
- 学年が上がるごとに精度や着眼点が多岐に渡ってくるのが面白いです。ネット知識だけでなく調べることもしてほしい。特に若年層はネットだけになりがちな世の中の情勢なので。上世代の新聞、テレビだけでもアレではあるのですが…

参考アドレス、参考図書などの概念も意識していく取組もほしいなと思いました。

⇒今後は「問いを磨く」という考え方のもと、自分だけの最高の答えにたどり着くためのオリジナリティあふれる問いにできるように支援していきます。マイブラだよりの11号にも載せましたが、「文鳥が病気になるためにはどうしたらいいのだろうか。」という問いだとインターネットや本で調べればすぐに一定の答えが出てきます。身近なことにも目を向けさせたことで、「家で飼っている白文鳥のロコちゃんは何故不思議な行動をとるのだろうか。」という問いへと深めることができました。この問いの答えはインターネットや本には載っていません。関係者に話を聞いたり、どんなときにどんな行動をとるのか等を記録・分析したりして、自分たちで答えを見付けるしかない問いとなります。このようなオリジナリティあふれる問いへと深め、次のサイクルをスタートさせることで、自分だけの最高の答えにたどり着くことをねらっていきたいと思います。また、参考にした文献やサイトを記録していくことは重要であると認識しています。今後、発達段階に合わせて、参考文献を明記することも探究のスキルとして位置付け、意識させていきます。

- 我が子はマイブラの授業時間を他のどの教科よりも楽しんでいるようです。色んな意見はあると思いますが、続けていってほしいです。ある程度の作文を書けるようになるにも、練習とフィードバックが欠かせない様に、スピーチやプレゼン、質疑応答に対応するのにも場数と建設的なフィードバックが必要だと思います。主体的で自由な発想を応援する学びの時間を確保していってほしいと思っています。

今回一年生に関していうと、スケジュールが細かすぎて紙を大人が見てもわからないという形だったので迷子が続出。知らない子の名前を頼りに探す？のは難しかったようです。ひらがながおぼつかない子もいるのでウォークラリーを参考に絵を使うなど行き先の目印がわかりやすいといいですね。校内全体のウォークラリーなんてお祭りの様で探す方も楽しいと思います。

コメントカードも一年生には書く時間が短くて、書かなきゃと思うばかり、聴き手はみんな顔が下向き。プレゼンを見ないでコメントの紙ばかりに集中してしまうところが勿体無いと思いました。聴く方に集中させてあげたいですね。また、主体的に質問を投げかけることも奨励してほしいです。質問者にもボーナスを。日本人は正しいことを求めるばかり、変な質問を笑うとか極端に消極的です。的外れな質問もどんどん出して良いよという環境作りと、プレゼン者と聴講者の双方向のコミュニケーションを奨励してほしいです。高学年には、プレゼンの内容だけでなく声の大きさとか、目線の場所などプレゼンターとしての良し悪しの評価を加えては如何でしょうか。どんなに書いた内容が良くても効果的な伝え方を練習しないと、大事な事は伝わりません。

⇒発表の形態については、より自由度が高く、発表者が伝えたいことをきちんと伝えられるような形にしていこうと検討しています。具体的には発表時間や場所を発表者自身が決めるような形で考えています。その際には、質問する時間を意図的に設け、発表を聞く側にも、疑問に思ったことやもっと気になることなどを質問するという意識をもたせ、より充実したマイブラフェスタにしていきたいと考えています。

- 先日、四小親児の会の会合の中で、マイブランスクールの話題になり、下記のような様々な意見が出ていました。

- ・一人一人が自分の意見を人前で話せることは重要であるので、有用だ。
- ・”探求すること”がマイブラの要である。本質的に発表が苦手な子どももいる。特に低学年・中学年では、正確すぎるほどのタイムキープや一律の発表はやりすぎだと感じる。
- ・個々の特性を尊重し、一つのことを作り上げる体験が重要なので、劇のような取組もやってほしい。そのような体験を通して、自分は何が得意で、何が不得意なのかが、自分ごととして”わかる”ようになる。AIが当たり前となるこれからの時代、マイブラのような取り組みが教育に不可欠であると、私自身は考えています。賛否両論あるし、答えは出ないかもしれませんが、我々大人が上記のように試行錯誤すること自体が、大変重要であると思います。このような意見交換を保護者間で実施するのも、有益かもしれません。これからもマイブランスクールの取組に期待しておりますし、可能な限り協力していきたいです。

⇒発表形態については前述のとおり考えており、より自由度の高い形を検討中です。自分の得意、不得意がわかるという視点はとても重要だと思います。昨年度は「どうしたら上手に演技ができるのだろうか」という問いのもと、自分たちで劇を作り上げ発表した児童もいました。児童の好きなこと、やってみたいことを実現できる環境を可能な限り整えたいと思っています。その環境の中で自分自身のことを見つめ直したり、新たな可能性を見いだしたりできる時間にもなると考えています。しかし、我々教員だけではその環境を充実させることが難しいとも感じています。今後とも、マイブランスクールの取組へのご理解・ご協働いただけると幸いです。